

平成元年度総会御案内

本庄高等学校同窓会 各位

本庄高等学校同窓会 会長 岡 祐 孝

そろそろうっとうしい梅雨の季節が近付いてまいりました。

親愛なる県立本庄高校同窓生の皆様、其の後ご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

会員各位には、平素、同窓会活動に深い関心と暖かいご理解を賜り、陰に陽に本会発展のため、ご支援・ご協力を頂いておりますことに、先ずもって深甚なる謝意を表します。

お蔭様で、県立本庄高校同窓会も、逐年、順調な発展を遂げ、同窓会本来の目的である①会員相互間の親睦、②母校発展への寄与貢献、③後輩の指導育成等々の面で、着々その成果を挙げつつある実績は、評価されて然かるべきものと些か自負しておる次第です。

昭和63年度は、終身会費納入者525名、年会費納入者309名、特別寄付金納入者4名、入会金423名の協賛を得ております。会員各位からのご芳志は、出来るだけ無駄を省き、節約に努め、効率の良い運用を図って年に2回の会報の発行や通信費、それに年1回の通常総会の経費に充当させて頂いております。後輩の指導育成については、先輩たる吾々が、常に全ての面で生徒諸君の模範となるよう心掛け、又、学問やスポーツの面では、本庄高校に近い地域の各中学校側との連絡を密にし、年一回開催される所謂、中高連絡会の話し合いの場で、同窓会が仲介役を買って出て、中学から一人でも多くの優秀な生徒を本高へ送って貰い、3年間の高校過程でみっちり教育し、ここ数年来の劣勢を挽回すべく大学就中有名校への進学率の向上に尽力しております。

結びに会員各位のご健勝、ご繁栄と母校のご発展を併せ、ご祈念申し上げてご挨拶といたします。

日時／6月17日(土)午後3時、場所／埼玉グランドホテル(本庄駅南) 内容／午後3時通常総会
午後4時ティーパーティ(無料)、記念演奏会 バス独唱 浦野智行、ピアノ独奏 黒田隆、午後4時半懇親会(会費3千円) 御招待予定 竹本禮三、中谷幸次郎、内野久世、3先生、御関係深い会員は特にお誘い合せて御出席の程お願い申し上げます。



発行

本庄高校同窓会

会長 岡 祐 孝

事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病 院 内

事業報告

63年4月(1)母校入学式に出席
5月(1)同窓会会報No.9発行
(2)メンテナンス契約

継続

6月 昭和63年度通常総会を開催

7月 高校野球応援

9月(1)中高連絡会開催

(2)母校柏樹祭に出席

10月 岡部支部創立総会に出席

11月 会員レクリエーション

12月(1)同窓会会報No.10発行

スローガン

1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し 母校の発展に寄与しよう。
1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に 香り高い文化の花を咲かせよう。
1. 人間関係を大切にし、会員相互間に親睦の輪を拡げよう。
1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を 拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成 に努めよう。



柏グリーン・ハーモニー演奏(昭和63年6月総会にて) 旧中・旧女・高校校歌収録テープ希望者は同窓会事務局まで。
実費300円(送料別)

平成2月(1)神川支部より役員 変更の連絡
(2)母校へ助成金贈呈
(3)支部長会議・新年 会を開催
3月(1)新会員入会式
(2)新幹事の委嘱
本部役員会及び事務局会を毎月開催

(2)教職員支部の会に 会長出席



御挨拶

校長 新藤 格

皆様お元気のこととおよろこび申し上げます。

校庭の桜も、早や柔かい新緑に変わり、シンボルの柏も薄緑の若葉を、おだやかな風にそよがせています。

過日は、同窓会報第一号からの貴重な復刻版と、懐かしい埼玉県立本庄中学校以来ゆかりの校歌集をありがたうございました。

母校の歴史を飾る非常に重要な資料として、大切に保存させていただきます。

さて、本年度は、一年生が十クラス四百八十名と、本校史上最大の規模となり、また、三年生にとっては、国立大学への入学の大巾改正、さらに、その私立大学への影響を、学校にとつては新しい経験ですが、このような時こそ、教

育の原点に立ちかえり、基礎学力の向上をはじめ、スポーツの振興、日常の生活指導の充実、最善の努力を傾注することが基本であり、教職員一同全力を尽くす積りで、

進路状況

〈国立大学〉

茨城3 群馬3 埼玉2 千葉1 東京芸大1 信州1 高知1 群馬県立女子1 高崎経済1 横浜市立1

〈私立大学〉

流通経済2 白鷺1 関東学院1 跡見女子3 城西8 女子栄養3 駿河台1 東京国際4 独協6 文教4 明海3 神田外語1 淑徳1 千葉工業1 千葉商科1 青山学院4 亜細亜1 大妻女

子2 北里1 工学院3 国学院10 国士館3 駒沢8 実践女子1 芝浦工業1 順天堂1 上智1 昭和薬科1 成蹊1 専修6 大東文化26 高千穂商科1 拓殖4 中央1 帝京4 東海6 東京家政4 東京家政学院1 東京経済3 東京工科1 東京電機1 東京薬科3 東洋25

〈短期大学〉

日本26 日本社会事業1 文化女子1 法政12 武蔵3 武蔵野音楽4 明治4 明治学院7 明治薬科1 明星1 立教2 立正9 早稲田3

〈専門学校〉

神奈川3 神奈川工業1 関東学院1 相模女子1 産業能率1 横浜商科2 東北福祉1 金沢医科1 立命館2 石巻専修1 奥羽1 東海福祉1 日本工芸1 摂南1 第一薬科1 金沢工業1 大阪芸術1 神戸1 関西1 群大医療技術1 群大工業1 埼玉経済1 埼玉県衛生3 国学院大栃木1 群馬女子1 高崎商科1 新島学園女子1 明の星女子2 上野学園2 浦和1 埼玉医科1 埼玉純真女子1 十文字学園2 城西女子5 尚美学園3 女子聖学院5 文理情報2 立正1 跡見学園1 大妻女子1

学習院女子1 川村1 共立女子3 国士館1 駒沢4 実践女子1 淑徳4 昭和女子2 女子栄養1 白梅学園1 東海大1 東京家政学院1 東京家政大7 東京女子体育1 東京農業大1 東洋女子1 東洋英和1 東洋大短大部4 日本経済1 日本女子体育1 日本大2 富士1 文化女子3 文京女子5 武蔵野女子2 目白学園1 関東学院女子1 国際女子1 埼玉県立南看護3 埼玉県立看護教員養成3 国立高崎病院付属看護2 国立埼玉病院付属看護2 平和学院衛生福祉1 アルスコンピュータ1 学園3 エレクトーン講師ヤマハ研修生1 サンケイインターナショナルカレッジ1 サンシャインビジネス1 トラベルジャーナル専門2 パークレーハウス語学専門3 バンタンデザイン研究所1 ホンダインターナショナルテクニカルスクール1 ミューズ音楽院1 ユーリカ大学東京校1 横浜簿記専門2 関東工業専門1 群馬医療秘書2 高崎スクールオブビジネス3 国際医療管理1 国際観光文化3 国土建設1 埼玉県栄養1 埼玉歯科衛生1 埼玉電子工学院1 昭和大学付属看護1 神田外語学院1

〈就職〉

地方公務員(群馬県職)1 地方公務員(埼玉県職)2 国家公務員(郵政)6 HOYA1 NEC日本電気2 (株)アドヴァンファシリテイズ1 (株)オークレット北海道1 (株)ムラタ1 (株)リード1 (株)山本製作所本庄工場1 沖電気1 高崎高島屋2 三光電子1 上里農協1 拓昭1 中井電子工業(株)1 富士通・館林工場1 富士電気1 武蔵野銀行1 埼玉ランドホテル1 三菱自動車・本庄カーブラザ

教職員の異動

(敬称略)
(転出)(全日制)
教諭 松本恵巳子 勇退
教諭 小原 孝平
教諭 須藤 伸子 深商高へ
教諭 大塚 利典 深商高へ
講師 生方 敦 栗橋高へ
非常勤講師 寺園和仁 行田高(定)へ
事務室長 柴崎 文夫 深商高へ
(転入)(全日制)
教諭 宮崎 郁夫 深商高へ
教諭 和久丸 豊 深一高へ
教諭 中島 豊 鴻巣高へ
講師 小暮孝雄 川口高へ
講師 平野 利明 大宮南高へ
講師 矢崎 千絵 新採用
講師 中村 雅子 新採用
事務室長 高沢 茂夫 不動岡高へ
非常勤講師 金子 素子 新採用
若旅百合美 新採用
橋元 美慧 新採用
(転出)(定時制)
教頭 荻原甚二郎
(転入)(定時制)
教頭 新井行雄 児玉農工高へ
*非常勤講師については本年度新規に着任された方のみ紹介しました。又、勇退の松本恵巳子先生は非常勤講師として引き続き勤務します。

柏陵消息



近 況

中谷幸次郎

本庄高校には、終戦後、台湾よりの引揚げ直後からつとめさせていただき、八年ほどお世話になりました。引揚げの苦労と物資の不足を、あたたかい生徒たちの心によって、いやされた感激は忘れ得ません。尔来、四十年以上の歲月を閲し、昨年喜寿を過ぎまして、今は傘寿に向つてはりきっております。

もう一つ。去る二月、思い



小さなしあわせ

高四 大野みつ江

一月のある日、花屋の店先に福寿草の鉢が寒そうに並んでいました。いつかほしいといつも思つていても手に入る機会がなく三十年経つてしまいました。我家の主人は福治と言います。その名にちなんで、色紙に書いて見たいといつも言つていたのを思い出して

紙に描かれた福寿草は居間の壁にかけられ可愛らしく、誇らしげに咲いて居ります。やわら日に並んでひらく

福寿草
(大野福治先生夫人)



中仕切りの思い

高六 川瀬 孝

文芸評論というものに自覚的にかかわりだしてから三十余年は経ち、中仕切りの思いを切にしている昨今です。五十歳を過ぎれば、自分の限界は否応なしに飲みこめてくるので、そのことをわきまえた上で今までの仕事にまともな与えたいのです。

文学の中心は言葉と心です。磨かれた言葉が心を豊かにし、豊かになった心が更に言葉を磨きます。それならば、言葉とは心とは何なのか——ようやくと自分なりに飲みこめたものがあり、それが今後の仕事の基礎になります。それと同時に、故郷としての本庄の姿が心に強く映じてきました。北に赤城、西に浅間という自然の中の本庄がとも大切で、尊いものと思われてきたのです。目を上げ

て、あれらの山の姿で自分の存在を確認し、成長してきました。今さらに、それがとてもなくげいたく生活であつた、と激しく激しく思い返されます。これをモチーフの仕事もやらねばなりません。(文芸評論家・京大)

卒業して

63年度卒(全) 強瀬修男

私達は、昭和時代最後の卒業生として本庄高校を卒業しました。

その前日行われた同窓会の入会式や懇親会に出席し、本部役員の方々が大変立派な方々で改めて本庄高校の偉大さを感じました。とともに高校生活、しかも大変充実した三年間をこの本庄高校で過ごせたことを大変感謝しております。

私達は本庄高校卒業生という誇りを胸に新しい生活を送っています。

そこで在校生の皆さんにお願いがあります。

本高生としてのプライドは絶対捨てず、本庄高校の自由と伝統を大切に守ってください。きつといつか誇りに思う時がくるでしょう。

岡部町普濟寺一四一九一七

☆☆☆

四年間の思い出
63年度卒(定) 野枝 進

一事で四年間は、とても長い年月でした。私は、専門学校へ通いながらの一年間でした。一年生になって、電気工事士の資格を得て電気系の会社に入社しました。仕事を終え学校に着くのがぎりぎりの毎日でした。

一番の思い出は、修学旅行です。四年生になったら絶対に行こうと約束してクラス全員で、三年の時から積立を始め、そのかいあつて数年ぶりに修学旅行を実行する事が出来ました。日頃とは又、違つた先生方、友人と、とても楽しく話が出来ました。

一社会人として又一学生として、長い長い四年間でした。しかし、社会勉強が沢山出来ました。勉強と仕事を両立して、この春卒業出来、とてもうれしく思います。先生方、クラスの皆さんどうもありがとうございました。

本庄市東富田四五九一

卒業して

63年度卒(全) 宮下祐子

私たちは、昭和六十二年卒業生として本高を卒業し、今、それぞれの道を歩み始めました。

自由な校風の中で養われた

人間性は、私たちの生涯において大きなメリットとなり得るであろうし、また、そのことを大変うれしく思います。

『学生の本論は勉学にある』と言われますが、それだけでなく、もっと大切な何かを得られたのではないのでしょうか。

しかしながら、最近、そのチャンスを見逃しているように感じるがあります。生徒の自主性を育てるための校風であるけれども、生徒自身の積極性に欠ける傾向が見受けられる点です。

『何のための自由なのか』これを在校生の皆さんへ送る言葉とし、皆さんに充実した高校生活を送っていただきたいと思ひます。

群馬県多野郡新町一八九六

同窓会

本部役員

会長 岡 祐孝

副会長 立川大作、竹並栄一郎

橋爪茂夫、吉田建治

高木敏子、竹内清四郎

(教頭)松本 保、新井行雄

会計 戸谷全克、江原清吉

監事 齊藤淑人

内野ヨシエ

顧問 塩原英雄、持田直次

(校長) 新藤 格

終身会費納入についてお願い

親愛なる同窓生の皆様、私達は母校への寄与と貢献と会員相互の親睦向上を念願に努力しておりますが主たる基礎財源は終身会費(壹万円)を主としています。

未納の方の御協力をお願い申し上げます。終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。郵便局振込口座番号東京三十一八七〇二〇、又は埼玉銀行普通預金口座番号本庄一八九一〇七七七三

本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名 (卒年別)

昭和63・4・1〜平成1・3・31

中1	相川徳平 卜部吉太郎 金子 満
中2	絵野沢孝之助 大島四郎 小谷野四郎 早野右男 春山通雄 井出 孝
中3	飯島武一 長塚祐二 福島喜久司 堀越茂三郎
中4	相羽喜久夫 青木睦太郎 斉藤 肇
中5	小池保次 清水憲次 中原誠一 蛭川太郎
中6	金井次夫
中7	大木高枝 柿沢八十八

中8	石田義信 大林文雄 柿沢総一 倉林正蔵 下山武雄 水上光敏 山田真雄 吉田哲郎
中9	金子秀雄 鈴木睦二 須藤徳三 野沢 要 福嶋英雄 吉岡樹作
中10	高柳康治
中11	岩瀬正治 黒沢公夫 紺野真教 渋谷和紀 田島稲造 西山章二 奈雲龍雄 町田英雄 松永広祐
中12	高橋 茂 金井英雄 倉林仙之助
中13	飯塚雅一 岡部稗作 喜多村勉
中14	徳世 敬 木村昌文 小林幸夫 東村敏夫 河野尋則 神戸義二 徳江文吉 茂木 肇 横堀正一
中15	梅澤 剛 小泉林造 亀岡基雄 久保田譲 倉林 晴 栗原 正 篠田 登 谷矢敏夫 戸谷金春 渡辺美次
中16	岩平 倫 卜部保夫 川田隆治 木戸間弘美 坂本義雄 鈴木 実 野口敏雄
中17	清水 浩 内田保夫 田中秀男 角田日出夫 富沢 宏 岩本柔蔵
中18	雨宮 剛 木村 始 久保田正義 齊藤俊夫 齊藤政夫 坂野 寛 下山篤一 杉 雅良 田島武平 島羽昭二 堀内卯一
中19	板垣仙次郎 杉山慶治 千田英彦 寺島 博 平野 斌 堀内文治郎 三友安治 山田一男
中20	荒井広治 岩田基治 黒沢清光 境野敏雄 清水橋雄 武正光雄 戸矢和男 新田和彦 橋本 顕 藤本良三 丸橋安夫 村岡邦喜 村上和夫 百田師恵 柳沢 喬 横堀幾蔵 吉野芳雄
中21	高田静男
中22	山田重雄 新井泰仁 飯島 清 伊藤福直 岡 三郎 片桐良作 金井久直 菊池壽策 町田尚夫 久保田房吉 塩谷敏勝 塩原祐次
中23	杉原秀夫 田端恒雄 中島秀亀智 根岸重浩 三友史朗 望月正昭 綿貫良一 市川喜良 堀口徳次郎 今井 洋 岡崎 丕 小野東助 金井十郎 久米一郎 倉林政光 栗田照雄 小林四郎 高柳邦雄 増田順行 俣田英男 高橋 祐 併1 高橋清一 吉川幸男 併2 卜部文勝
女1	小暮とよ 清水つる
女3	小新井静子 藤林つ彬
女4	重原フミ 水落みつ 小熊信子 関根みよ 木村富喜子 丸山芳江
女5	佐藤たかし 秋岡とき子 山口政枝 猪野美知
女6	遠藤富子 山内雅子
女7	福島須磨子 尾谷千鶴 三宅繁代
女8	堀込雪子 館 久子 吉岡錦子 中沢きぬ子
女9	田所静江 飯島イツ
女10	福島菊子 椎名久子 荻原順子 寺口菊江
女11	茂木つる江 内藤さく子
女12	石原菊江 森沢静子 飯塚春江 本島伊勢子 飯野千代子 吉羽美登里
女13	日川順子 須賀シン 澤 光子 女14 宮関花子 矢口貞子 女15 青木かほる 宇野松代 小林茂子 中村富美 島田みい 松本文子 女16 沢口 薫 江村フク 河野美知子 小島暉子 女17 岸 緑 牧野美代子 柴野京子 中島ます子 女18 古屋藤子 大理解枝 松本和子 小暮みつ江 田島トミ 川野辺玉江 岡田秀子 須賀千枝子 齊藤美智子 湯本稔子 女19 萩原みよ子 宮崎とみ江 河西和子 春山幸枝 猪野礼子 井田君代 桑原真佐子 高田民代 新井政子 野口恭子 根岸 住 女20 岩片和子 栗原サヨ子 黒崎セツ 安喜美枝 山口静江 女21 古川智子 関根三津子 小島富美江 北川昭恵 荒井昭子 森 和子 女22 大野さわ子 羽鳥昌子 境野トシ子 長谷川淑子 小日向淑子 木村幸子 東 英子 荻野澄江 女23 小池正子 秋山久美子 重盛孝子 石垣千代 宮崎千恵子 井田武子 柴田政子 女併1 永田神恵 宮下順子 女併2 小林金代 川崎照子 山田 武 原たか子
高1	五十嵐恒雄 小此木進 中島二郎 横田勝作
高2	荻野八郎 金井盛治 金子定夫 久保田旺 清水義弘 高島 稔 福島利夫 藤塚紀男 間正浩司 持田政郎
高3	新井重郎 新井惟史 安齊公次 石川一郎 梅沢一夫 春日周次 押田幸子 藤原妙子 田島進平 長谷川茂 福島昌雄 近藤桂子 松内宣之 岩波伸子 阿部初音
高4	浅井健二 五十嵐基興 河野叔子 田中七子 木村 勇 小池愛子 清水計治 北原久江 高山清子 俣山安男 根岸英治 林 ちか 滝沢尚美 小沼悦子 木下諒子 町田瑞穂 武藤吉雄 森田富司 一宮艶子
高5	三浦敏雄 天野 由 桜井美寛 笹谷肇男 金沢 実 田嶋義介 中島邦夫 木村節子 森 義隆 森塚 巖 山口邦雄 横田 繁
高6	新井田富子 大沢修三郎 竹田美知子 鈴木和子 坂野和夫 塩田靖広 関根弘子 加藤文子 鈴木勇司 高嶋重晴 時田脩哉 田澤弘子 平林邦教 黒沢利子 福島英雄 茂木久子 茂木藤夫 吉野昌明
高7	渡辺初子 奥田光男 中里資子 中島トキ子 宮下愛子 設楽金造 高柳良子 田端功政 福田洋子 小林金代 川崎照子 山田 武

【四頁から続き】

高8	笹井均	白砂	田中知平
高8	半坂芳江	金子功	島田勝子
高8	杉本悦子	竹川静子	関根あや子
高9	田村忠彦	宮永千鶴子	安村君枝
高9	山田路子	緑川千恵子	安藤悦男
高9	金井寅雄	亀田寛	船越トヨ子
高9	黒澤和男	小暮武	高野清允
高9	古郡章男	宮崎三郎	森 征之
高10	森陽一郎	坂本修一	沢沢俊彦
高10	荻野清隆	家永洋子	福島俊男
高10	中島八重子	寺下由記江	近藤明美
高11	内田光雄	大谷 洋	西村ツネ子
高12	沼田節子	吉沢唯志	田嶋 明
高12	小沢 浩	高橋宏明	石井三枝子
高12	摩庭洋子	阿部深雪	村田曠達
高13	増子順子	岩崎寿行	小泉洋一
高13	大手久恵	駿河静子	柴崎宣子
高13	吉橋公子	滝沢 清	根岸正彦
高14	榎本さかゑ	南谷寿美子	杉本 暁
高14	内野重利	楠 洋子	木暮那美子
高14	三浦イサヲ	加瀬幸枝	金井喜子
高15	茂木和夫	松本由江	松井 努
高15	島田信子	飯田邦明	大竹範夫
高15	橋本朝光	山本紀江	中沢純子
高16	長井美津子	関根治男	瀬間義信
高17	萩原秀子	久田真理子	久田真理子
高17	門倉憲夫	金子園子	高橋良子
高18	内田準作	小林由美子	金田堯年
高33	新井潤一	磯野哲也	小島英明
高33	千代田由美	久田 晃	
高20	松野明美	高橋徳一	小林令子
高20	齊藤久男	田島祥治	田中すゑ子
高21	市坪孝子	塩原英彦	古川信介
高22	湯本 衛	織茂尚次	金井正明
高23	木村博子	清水 稔	下平勝久
高24	奥富昭彦	後関登志夫	坂本育夫
高25	田嶋 明	野木英幸	定20
高26	朝川茂夫	新井啓子	高38
高27	原口庄一	吉川益弘	山口仁士
高27	飯嶋 治	飯野みどり	今 幸子
高28	杉本 暁	丸橋淑夫	今 幸子
高29	雨宮君子	永田彰彦	春山盛郎
高29	松井 努	松井 努	松井 努
高30	新井 亨	四分一浩	横堀孝広
高30	大野裕史	金井信子	神田 宏
高30	栗原隆志	田中圭一	永田好一
高31	足立 覚	新井 征	
高33	新井潤一	磯野哲也	小島英明
高33	千代田由美	久田 晃	

特別芳名

昭和24・3卒・33・3卒迄

今回は高1・定1・別1・高10・定9・別6までの方全員に会報を送りますので、会費納入者もその間全員を掲載します。

高34	大谷昌孝	川田 博	鶴田文彦
高35	福島一美	山田幸恵	
高35	金井 誠	小暮美恵子	根岸秀一
高36	馬場美智子	山口文彦	
高37	久間木聡子	小池真粧美	須藤裕司
高37	川松朋章	高橋知佐	野村拓也
高37	日向五三三	山口正男	
高37	織茂尚次	金井正明	
高37	根岸伸年	定12	
高37	野木英幸	定20	
高37	岡村幸一	倉林光雄	
高37	反保博也	鳥羽正幸	須藤和枝
高37	山口仁士	浅田房江	
高37	高橋大介	早崎丈恭	藤本恵子
高37	古川 愛	紅谷政彦	倉林真帆
高37	出牛克美		
高37	高橋美典	中7	一〇〇〇〇
高37	伊藤福直	中22	一〇〇〇〇
高37	近藤桂子	高3	一〇〇〇〇
高37	松内宣之	高3	一〇〇〇〇
高37	五十嵐恒雄	卜部義典	小此木進
高37	小内誠一郎	久保田昭治	黒沢信男
高37	篠崎達雄	柴崎 晋	武正義雄
高37	戸谷全克	中島三郎	中源和喜
高37	藤野栄一	逸見嘉正	茂木二郎
高37	横田勝作	脇坂佳治	
高37	浅見靖夫	新井一夫	真下博孝
高37	上原智博	卜部富子	浦野征房
高37	太田宮人	荻野八郎	小嶋 直
高37	加藤欽吾	金井盛治	金子定夫
高37	牛久保和雄	久保田旺	清水義弘
高37	高島 稔	立野雄一	吉田建治
高37	高野保夫	田端義信	塚越寿衛
高37	戸矢信男	中田省二	根岸桂一朗
高37	須賀 裕	福島利夫	福島満明
高37	藤塚紀男	間正浩司	松本孝二
高37	持田政郎	矢崎昭夫	鈴木和夫
高37	横田耕治郎	若林 茂	山田節子
高37	青木謙二	秋山芳子	新井重郎
高37	新井惟史	山口幸子	安谷公次
高37	飯島康男	石川一郎	木村八重子
高37	梅沢一夫	大谷常久	大野文雄
高37	古田桂子	小野節子	海保 晃
高37	春日周次	金子由之助	亀田愛子
高37	押田幸子	川瀬 晃	萩原吾郎
高37	倉林 毅	三沢いぐ代	黒田浩次
高37	小泉正信	齊藤 章	佐々木年重
高37	丸岡エイチ	村山美恵子	高柳慶一
高37	田島栄作	田島進平	田島 弘
高37	倉林陽子	戸塚克男	内藤 明
高37	中井芳英	春山一三	橋爪利夫
高37	蓮沼賢次郎	長谷川茂	福島昌雄
高37	福島好正	近藤桂子	福島昌子
高37	増野武夫	松内宣之	吉岡厚江
高37	岩波伸子	間庭芳江	阿部初音
高37	山本歌代子	若松邦彦	
高37	相川 彰	青木秀弘	浅井健二
高37	石渡初代	飯塚松美	五十嵐薫
高37	池田敬子	井上喜美雄	河野叔子
高37	田中七子	内野昭八郎	江原清吉
高37	大沢健司	金井克規	金井近夫
高37	新井芳子	河田好雄	河野元一
高37	木村 勇	黒澤一徳	田中洋子
高37	今野隆昭	坂本晃一	庄田孟史
高37	小池愛子	柴崎起衛	清水計治
高37	清水 奨	北原久江	関根克司
高37	高橋利夫	高山清子	篠山安美
高37	斉藤照子	中野 恒	根岸英治
高37	林 ちか	久藤富子	大原明子
高37	滝沢尚美	小沼悦子	川路清子
高37	阿部和子	木下諒子	町田瑞穂
高37	松原 俊	松原康男	松本 茂
高37	沖元光代	松山よし子	宮崎郁吉
高37	等原君代	見目晴哉	武藤吉雄
高37	須藤茂子	森田富司	矢島 稔
高37	加古親馬	山口敏裕	小暮富司
高37	一宮艶子	鎗田文子	
高37	三浦敏雄	天野 宙	飯塚隆司
高37	千田米子	岡田 実	鈴木俊子
高37	荒川治枝	木村和義	栗田吉明
高37	黒澤 健	坂本 坦	桜井美寛
高37	笹井準男	清水 勲	清水禮壽
高37	諏訪秀一	関口敏明	関口祐一
高37	関根 貢	倉田佐代子	高橋銃二
高37	金沢 実	田嶋義介	風間玉江
高37	常木茂司	山田良子	金井澄雄
高37	中沢 要	中島邦夫	山口美明
高37	根岸雄三	野枝直治	野村清子
高37	大木美美子	長尾喜美江	木村節子
高37	窪田章子	町田厚太郎	森 義隆
高37	森塚 巖	山口邦雄	山田鎮政
高37	横田 繁		
高37	野口礼子	新井 茂	飯島八千代
高37	新井田雪子	岩田幸彦	内田ふき子
高37	竹内恵美子	大沢修三郎	竹田美知子
高37	鈴木和子	飯塚禮路	小野里里子
高37	栗原勝信	小菅 卓	小暮喜一郎
高37	小林伸吉	近藤 徹	河田弥代
高37	坂野和夫	坂本正彰	塩田靖広
高37	塩原慎一	関根弘子	柴崎武治
高37	柴田 実	島田徳三	加藤文子
高37	吉井良子	城田博子	須賀栄一
高37	桑原美知子	鈴木一清	鈴木勇司
高37	高嶋重晴	大場順子	河辺貞子
高37	高山二雄	岡田久子	時田脩哉
高37	戸谷修康	田澤弘子	牛込トシ子
高37	野口恭一	坂本園子	井田正子
高37	平林邦教	黒沢利子	福島英雄
高37	船戸鏡聖	古沢洋一	茂木久子
高37	島田澄子	町田 顕	松原文司
高37	松村経子	青山年子	茂木藤夫
高37	矢代和正	柳田伸吉	山本勝美

【六頁へ続く】

【五頁から続き】

吉野昌明 渡辺道夫

高7

青木六郎 阿佐美孝子 荒井正夫

飯島茂明 井上章吾 渡辺初子

遠藤 武 大林晴美 奥田光男

中里資子 広田みつ江 岸田正久

木村喜美枝 中島トキ子 木村久子

蕪塚則子 小林 司 齊藤 樹

富井絹子 宮下愛子 設楽金造

諏訪重明 関口道子 高橋 宏

高柳良子 桑原初江 立野政雄

田端功政 福田洋子 土田美夫

巴 行雄 中島春夫 小林全代

野口幸子 小賀野善孝 春山茂之

福島 広 鷲宮 滋 古達節子

保坂浩哉 蜂須和枝 宮崎忠男

川崎照子 山田 武 小杉キミ子

高8

青木 彰 角谷八千代 今野佳子

半坂芳江 中山昭子 小沢和枝

金子 功 川辺鉄哉 越智光枝

小川カネ子 関根若子 桜井穂積

島田勝子 杉本悦子 竹川静子

関根あや子 高橋幸子 齊藤佳子

田村忠彦 春山 直 中野節子

古沢 博 増沢弘人 高橋美恵子

宮永千鶴子 見塩治子 小林美代子

山本厚生 安村君枝

高9

山田路子 緑川千恵子 安藤悦男

三田希良 高橋知子 梅村孝雄

荻野秀雄 村井里志 織茂初枝

加藤直司 門倉正肇 金井俊夫

金井寅雄 亀田 寛 川端勝治

鬼沢善男 徳地雅子 木村悦子

船越ト子 田村登美子 栗原伝一郎

納見高子 黒澤和男 藤間絹代

小暮 武 西川公子 坂本幸夫

古郡百治 大庭富士乃 杉山喜一郎

関根邦夫 積田梯司 高野清允

高橋克己 形山将行 大越靖子

古田浪子 沢渡恵美子 田部井高久

長沼重行 塚田紀美子 橋爪国典

古郡章男 宮崎三郎 村岡伸一

森 征之 森陽一郎 木田房子

坂上スミエ

高10

井上章三 荻野清隆 土谷洋子

小林博夫 齊藤淑人 日向光子

坂本修一 栗原ノリ子 柴崎起三雄

渋谷俊彦 白井昭子 家永洋子

須藤好夫 中野浩司 福島俊男

近藤明美 中島八重子 岩田紀美代

宮田好勝 寺下由記江 山下精治

定1

島村 弘 松本敬一

定2

黒田達雄 竹内清四郎 吉田昭雄

定3

荒井 茂 飯塚 栄 山口勝吉

松原和三 三沢 潤

定4

江原俊夫 小林哲夫 関口八朗

高月永作 日高五三 日向義雄

宮原利久 山口正男

定5

織茂尚次 金井正明 亀田 弘

定6

佐藤龍子 小賀野善孝 立野栄二

定7

恩田三郎 栗原悦雄 竹内孝三

藤野広統 森 彰 渡辺芳一

定8

神長金義 小林金重 小林弘子

定9

石川 薫 河田英子 杉山則子

根岸伸年 細谷保夫

別6

栗原喜代子



創立70周年近づく母校



平成元年三月卒業

新幹事一覽

クラス氏名 電話

(〇四九五は省略)

1 中嶋祥光 (22)五九四五

和地仁美 (〇二七四)

2 戸谷寿明 (23)八七三

山田朱美 (33)〇八一九

3 坂内信之 (21)〇五〇三

安田純子 (25)二九二六

4 牛崎純一 (24)三〇二一

須賀圭子 (33)二八六一

5 高田聡史 (77)四〇六二

鯨井裕恵 (73)一九三六

6 鐘野 博 (22)二二三二

〇宮下裕子 (24)〇七八六

7 上原 毅 (42)三三八二

加藤千晶 (21)七一〇一

8 〇強瀬修男 (24)五五四四

小林千恵 (85)二五七四

9 木村啓二 (71)八六七五

相川和明 (32)一三二一

定〇野枝 進 (33)七二四一

牛久保文枝 (22)六八四三

※学年代表幹事〇印

支部役員

(支部長)

本庄連合 立川 大作 中9

宮 本 栗村 龍男 中16

泉 町 竹並栄一郎 中2

仲 町 中田 脩一 中19

上 町 境野 登 中2

七 軒 町 田 一徳 中5

本 町 鈴木 清司 中21

台 町 松本 敬一 中1

照 若 飯野 利衛 中19

南 本 町 村田敬次郎 中22

末 広 坂本 敬信 中12

諏 訪 井上 昌幸 中22

朝 日 町 内藤 明 中3

藤 田 荻野 清 中8

仁 手 橋本 顯 中20

旭 戸塚 泰和 中3

北 泉 門倉 義久 中11

今 井 岡芹鶴五郎 中10

児 玉 吉田 建治 中2

美 里 春山 一三 中3

神 川 戸谷 久衛 中3

神 泉 新井 從信 中15

上 里 荒井富次雄 中11

寄 居 朝比奈利雄 中9

熊 谷 西村 茂雄 中17

県庁県南 高橋 英二 中20

伊 勢 崎 小此木董一 中23

新 町 山口 仁一 中14

東 京 富田 三郎 中4

本庄市役所 黒田 達雄 中2

エーザイ 春日 伸康 中5

沖 電 氣 小沢 徹之 中13

教 職 員 山中 清 中22